

2024 年度

学校名 木津川市立木津小学校

対象学年 第3学年

① 学習指導案

プログラム	No.8 「わたしたちのまちに言葉の贈り物」
単元名 (全 時間)	「わたしたちのまちに言葉の贈り物」 伝えよう！ 守ろう！ 木津の宝
学習のねらい	木津に残る伝統文化を調べたり、自然体験活動を行ったりすることで、木津に残る文化や環境のよさに気づき、守っていこうとする態度を育てる。 また、文化や環境を守る人々の思いや努力を知ること、自分たちがその思いを引き継ぎ、未来を創っていく地域の一員としての自覚を持たせる。
学習内容	1 木津川について調べたいことを整理し、課題を設定する。 2 体験活動やインタビュー等を通して情報収集する。 3 情報を整理し、発表準備をする 4 発表や交流等を通して、考えを深めたり、発表内容を改善したりする。
参考資料 準備品 実施場所等	わたしたちの木津川市 電子黒板、デジタルカメラ、バケツ、網、ライフジャケット、水槽等 音楽室・教室・体育館・木津川の支流・木津高等学校

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1 ・ 2	○木津川に生息する生き物に興味を持ち、課題を設定する。	○木津川について調べたいことを話し合う中で、生き物について興味がもてるようにする。 ○河川レンジャーの方に質問したいことを考えさせる。	活動の関心・意欲 (観察・ワークシート) 課題設定能力(観察)
3 ～ 6	○木津川の支流の河川に入り生き物を観察したり、河川レンジャーの話を聞いたりし、情報を収集する。	○河川レンジャーの方に生き物のとり方や生態について教わりながら活動できるようにする。 ○木津川の自然を感じられるようにする。	課題追求能力 (観察・ワークシート)
7 ～ 12	○情報を整理する。 ○調べたことをもとに発表資料を作成する。	○相手に伝わるように発表資料を作成できるようにする。	課題追求能力 (観察・ワークシート)
13 ～ 20	○木津高校生との交流を通して資料を改善し、5年生に発表する。 ○木津川の生き物を守るために自分たちにできることを考える。	○木津高校と事前に打ち合わせを行い、交流の場で高校生からアドバイスをもらえるようにする。 ○発表資料を改善し、5年生に発表できる場を設定し、学んだことをまとめられるようにする。	表現力 (話し合い・発表)

<留意点>

- ・ 共通体験をもとに、自分事としてとらえながら、活動できるようにする。

② 事業実施報告書詳細

学校名 木津川市立木津小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
1 ・ 2	教室 音楽室	○木津川について調べたいことを話し合う。 ○木津川管内河川レンジャーの方に質問したいことを考える。		課題を自分事としてとらえ、調べたいことを見つけることができた。
3 ～ 6	木津川 支流 (鹿川) 教室	○川に入り、水中生物の観察をする。 ○河川レンジャーの方に木津川の様子や生息する水中生物について質問する。		川だけでなく周辺の自然を感じながら、実際に川に入って水中生物を観察できたことで、児童の興味関心が高まった。河川レンジャーの方の話を聞くことで、もっと調べたい、わかったことを伝えたいという意欲につながった。
7 ～ 12	教室	○気付いたことや分かったこと、タブレットや図書で調べた情報を整理する。 ○タブレットを活用しグループで協力して発表資料を作成する。		水中生物を観察したり、調べたりして得た情報を整理することができた。 ICTを活用しての資料作成は初めての経験だったが、聞き手に伝わるように工夫して作成することができた。
13 ～ 20	木津高等学校 教室 体育館	○木津高等学校を訪問し高校生と交流する。 ○交流を通してさらに知ったこと等をもとに、発表資料を改善する。 ○改善した資料をもとに学習を振り返りながら学んだことを5年生に発表する。		木津高校に行き、高校生に発表を聞いてもらい、アドバイスをもらったことで、さらに発表資料を改善したいという意欲につながった。また高校にある水族館を見せてもらったことで、生き物への興味がさらに高まった。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点 ・社会科の地域学習で、自分の住んでいる地域にどんな自慢があるかを話し合う中で、児童から出てきた「木津小学校」「木津川」「木津御輿祭」の3つについて、総合的な学習の時間で取り組んだ。 ・実際に話を聞いたり、川に入って生き物を観察する体験をしたりすることを通して、地域を身近に感じ、地域のよさに気付くことができるようにした。 ・川の生き物について学んだことや調べたことを近隣の高校生に発表し、感想やアドバイスをもらえたことで、さらに意欲をもって発表内容を改善できるようにした。 ・改善した内容を5年生に発表し、意見交流することを通して、考えが深まったり、さらに疑問をもったりする機会となるようにした。
(2) 実施にあたり苦労した点 ・ゲストティーチャーとの日程調整 ・川に入っの生き物観察の際の、熱中症対策や安全対策 (今年度、助成金でライフジャケットを購入)
(3) 児童の反応 ・自分たちでつくった課題であったため、とても意欲的に取り組むことができた。 ・実際に川に入って生き物観察をしたことで、木津川に生息する生き物についての興味や関心が高まった。また、体験当日お世話になった「河川レンジャー」の方から、生き物について教えてもらったことがきっかけとなり、もっと自分で調べてみたいという思いが高まった。 ・木津川に様々な生き物が生息していることを実際に見て、これからもこの環境を守っていきたいという思いをもった児童が多く見られた。 ・「木津御輿祭り」についてゲストティーチャーや市役所の人の話を聞くなかで、祭りの意味や伝統を受け継いでいる人の思いや努力を知り、祭りを守るために自分にできることは何かを考えることができた。
(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化 ・共通体験をもとに、調べ学習を行うことで、児童の学びがより深まることに気付くことができた。 ・体験や調べ学習の際に、様々な関係機関の方の協力を得て進めることで、児童だけでなく、教職員の視野が広がり、学習計画を改善しながら取り組むことができた。
(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕 ・児童が積極的に発信することで、保護者・地域住民とともに「まちづくり」について考える機会とする。 ・3年生で学んだことを今後の学習に結びつけて考えられるようにする。